

会 議 概 要

会議の名称	令和6年度第1回湧別町部活動地域移行検討委員会
開催日時	令和6年5月28日（火） 18時00分 開会 19時00分 閉会
開催場所	湧別町文化センターさざ波 多目的ホール
出席者名	委員～若松、綾部、川上、今野、早川、豊原、豊田、藤井、下田、牧村、畠山、兼田、石川、片岡、工藤、遠藤、黒田 各委員17名 教委～阿部教育長、西海谷課長、佐藤課長、澁谷室長、藤本主幹、福本主査 6名
欠席者名	黒川委員長
傍聴人の数	なし
会議の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. 委嘱状交付 3. 委員長挨拶 4. 教育長挨拶 5. 自己紹介 6. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1)アンケート調査の実施内容について (2)部活動関係者との協議について (3)その他について 7. 次回会議の開催時期について 8. 閉 会
会議資料	令和6年度第1回湧別町部活動地域移行検討委員会議案
会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 有 （ <input type="checkbox"/> 全文筆記 <input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記 ） <input type="checkbox"/> 無
備考	

てん末書

1. 日 時 令和6年5月28日（火） 18時00分から
19時00分まで
2. 場 所 文化センター さざ波 多目的ホール
3. 会議又は用務 令和6年度 第1回湧別町部活動地域移行検討委員会
4. 出席者 検討委員会委員17名（黒川委員長欠席）
阿部教育長、西海谷課長、佐藤課長、澁谷室長、藤本主幹、福本主査
5. 結果要旨
 - (1) 開会 西海谷課長
 - (2) 委嘱状交付
教育長より交代のあった委員（若松・今野・黒田委員）に対して交付
 - (3) 工藤副委員長挨拶
昨年度から発足したこの会だが、町の中では自分の体感だと、関心を持っている方が少ないと感じる。子どもたちを含め、この町の中で、みんなでやっ
ていこうという意識改革を進めていける会となれば良いと思っている。
 - (4) 教育長挨拶
前回は、NPO 法人幕別札幌内スポーツクラブのクラブコーディネーターで北海
道部活動のあり方検討支援アドバイザーの小田新紀さんを招いて講演をいた
だき、本格的に議論が始まるころと思っている。
本日は、3回目で、アンケート調査を議題としておはかりさせていただく。
このアンケート調査は、町内の部活動の現状の把握、分析を目的に行いたい
と考えている。このアンケート調査でさらに地域移行の検討が、より一層深ま
ると思っているため、皆様からご意見をいただき、このアンケート調査をよ
り良いものにしていきたいので、よろしくお願ひ申し上げる。
先週寒い中でも学校の運動会が開催された。特に上湧別地区は今年で最後
の運動会ということで、若干寒さや雨が邪魔していた結果となるが、そん
な中においても子どもたちはしっかりと練習の成果を発揮し、思い出に残
る自分たちが作った運動会を保護者、あるいは地域の人たちに披露して
いた印象を受けた。今週、来週と湧別地区等で運動会が開催されるので、
好天を期待している。学校の状況を報告させていただき、挨拶とさせて
いただく。
 - (5) 自己紹介

(6) 協議事項

①アンケート調査の実施内容について

藤本主幹から説明

○アンケート調査の概要について（調査目的・期間・対象・設問項目）

質疑応答

【川上委員】

保護者向けアンケート内で、段階的に移行することに賛成か反対かの設問があるが、その意図はどのようなものか。国・道で方針を示されているものなので、反対が多かったために移行はしないという論調が生まれてしまうものかどうかと思ったので、お聞きしたい。

【事務局】

あくまでもアンケート調査なので、傾向を把握するため、賛否を問うものでないという意図である。

【工藤副委員長】

設問の全体を通して、回答で最大3つをお選びくださいというのは、その回答者によって3つ以上、想いがあって回答したいかもしれないので、回答の数の制限はなくてもよいのではないか。最低1つという感じも良いのでは。

【事務局】

数の制限を行わないように変更する。

【遠藤委員】

中学生向けアンケートで、部活動に所属していない理由の設問における選択肢で、「保護者の理解が得られない」とあるが、保護者と一緒に家庭で回答するとすると、その場に親がいると回答しにくいのではないか。

【事務局】

委員のみなさんが削除すべきとするのであれば、事務局としては削除を検討する。

【綾部委員】

学校でタブレットを使って回答することはできる。

【若松委員】

綾部校長の意見に賛成。保護者の理解が得られなくて、活動できない子も実際にはいるので、この回答選択肢は残したい。

②部活動関係者との協議について

藤本主幹より説明

○部活動の設置状況や在籍数等について。

○町内のスポーツ文化団体の現況について。

○協議可能な団体について。

綾部委員が町内の学校を代表して補足事項を説明

○拠点校方式の検討について（拠点校方式では、競技人数を満たさない場合は他町の単独校と合同チームを組めない。）

○クラブチームと部活動で参加できる大会の相違について（競技によっては、クラブチームで参加できる大会が管内にはほぼない）

質疑応答

【若松委員】

去年この会に参加していなく、ゴールが決まっていて、それに向かった工程が決まっていて、それに向かっていくという風になっているのか、まだ手探りでやっているのか、全体像が見えないというのがある。紋別や北見では情報を確認してみるとゴールが決まっていて、そのうえでどうするかということ地域と話し合いながら進めているようで、そのあたりをしっかりと示したうえで進めていかないと先が見えず、疑問として感じる。地域の方との話し合いは賛成。地域の方と話し合ったうえで、できるできない部分が見えてくる。全体が見えない中でもどういう風にしていけばいいのか、手ごたえを感じない人はいると思うが、せっかく集まっていた貴重な時間なので、1回1回の会議を有意義にしていく必要があると思う、次は8月に行うと思うが、そこまでどれほど進める予定か。

【事務局】

事務局も手探りで進めている。綾部校長先生からのお話のとおり、種目によっては、地域移行を十分に検討していかないといけないというところである。ただ、皆さんの任期が令和8年の3月末までなので、事務局としては何とかその期間までには全ての移行というのは現状を踏まえると難しいかと思うが、何とか地域移行できるものについては、段階的ではあっても何とか進めたい。

【川上委員】

各団体と教員で話をするのは良いと思う。現状を把握するという点で大きい。本校では、バドミントン部があるけれども、バドミントン部は協議する相手がないのは残念。経験者ではない教員が顧問をしている。昔からある問題だと思うけれども、学校の体制等を考える時に、経験のない教員が、部活を担当して使命感を持ちながらやるけれども、当然限界なり、大変さがある。そこをクリアする1つの手立てとして地域移行というところなので、1つでも2つでも部活の地域移行が前進する流れができるといいなと思う。

【工藤副委員長】

前回、湧別高校の高野校長先生が、高校にバスケットやバレーボール、バドミントンの経験者がいるが、学校の部活にはない種目もあり、力を発揮できていない先生がいると話していた。こういった方たちが地域移行でうまく力を発揮できるのではないかと。バドミントンを教えられる方がいるのであれば、週に1回や2回、月に数回にはなってしまうかもしれないが、指導に行くことは可能か。

【今野委員】

現状は、この4月でバドミントン経験の教員とバレーボールの専門的な指導できる教員は異動した。専門的な指導をできるのはラグビーで、競技の経験者でいうとサッカー、バスケットボール、野球。ただ、高校の部活動を指導しているので、外部指導に行くのは難しい。ただ、将来的に高校の部活動も地域移行することになり、外部指導者に指導してもらえるのであれば、高校教員が外部指導をできるかもしれないが、現状は難しい。

【兼田委員】

現在の中学校のサッカー部員が少なく、自分としてはこの状況では建設的な話し合いができないままに終わってしまうのではないかと思う。もう少し早く話し合いをできれば良かった。

【島山委員】

野球に関して言えば、クラブチームがすごく増えている状況なので、協議することは賛成。中学校の部活からクラブチームに移行していく流れが大きく、クラブチーム同士の大会がかなり増えている。全国大会も開かれている。クラブチームに他町のこども達をどんどん呼んで活動することもできるのではないかと考えている。中学校の先生と協議する機会はありがたい。

【工藤副委員長】

種目ごとに状況が異なるが、協議することは賛成という方向でよいか。賛否両論ある中で、それぞれの協議が進むと思うが、自分としてはどのような協議となるか気になる部分があるので、都合の付く限り、各協議に参加してみたい。他の委員さんも都合付け参加してみどうかと思う。

⇒各団体と学校の協議日程は全体で共有することとした。

③その他

ゆうべつキッズについて、豊原委員より紹介

○現在、毎回10名程度の小学生が参加。陸上は、地域クラブでも中体連参加可。

(7) 次回会議の開催時期について

○アンケート回収・団体との協議終了後、9月ごろめどに開催予定。

(8) 閉会

令和6年度第1回 湧別町部活動地域移行検討委員会議案

日 時：令和6年5月28日（火）

午後6時～

会 場：湧別町文化センターさざ波

1. 開 会

2. 委嘱状交付

3. 委員長挨拶

4. 教育長挨拶

5. 自己紹介

6. 協議事項

(1) アンケート調査の実施内容について 資料1

(2) 部活動関係者との協議について 資料2

(3) その他について

7. 次回会議の開催時期について

8. 閉 会

湧別町部活動地域移行検討委員会委員名簿 (◎委員長 ○副委員長)

任期：令和5年10月26日～令和8年3月31日

(太字の3名は令和6年4月26日～令和8年3月31日)

No	区分	住所	氏名	役職等	出・欠
1	1号委員 (学校教育関係者)	錦町	<u>若松 征一</u>	ゆうべつ学園校長	
2		北兵村一区	綾部 雅一	上湧別中学校校長	
3		芭露	川上 智広	芭露学園校長	
4		中湧別南町	<u>今野 博友</u>	湧別高等学校校長	
5		中湧別南町	早川 大介	中湧別小学校校長	
6		錦町	豊原 隆之	ゆうべつ学園教頭	
7		遠軽町西町	豊田 修司	上湧別中学校教諭	
8		芭露	藤井 陽平	芭露学園教諭	
9	2号委員 (スポーツ・文化活動関係者)	中湧別南町	◎黒川 隆	体育協会会長	
10		北兵村一区	下田 英人	スポーツ少年団本部長	
11		北兵村三区	牧村 宣幸	スポーツ少年団事務局長	
12		栄町	畠山 智光	野球少年団指導者 (湧別マリナーズ)	
13		上湧別屯田市街地	兼田 真一	サッカー少年団指導者 (FC Miragross Jr.)	
14		錦町	石川 克巳	スポーツ推進委員長	
15		中湧別南町	片岡 幸生	文化連盟理事 上湧別吹奏楽団代表	
16	3号委員 (有識者)	登栄床	○工藤雄希峰	社会教育委員	
17		栄町	遠藤 道代	ゆうべつ学園PTA会長	
18		中湧別東町	<u>黒田まどか</u>	上湧別中学校PTA役員	

(1) アンケート調査の実施内容について

■アンケート調査概要

1 調査の目的

部活動の地域移行について、児童生徒、保護者、教職員及びスポーツ・文化団体を対象としたアンケート調査を実施し、現状を把握、分析した上で、今後の検討における参考資料とする。

2 調査期間

令和6年6月10日（月）～6月30日（日）まで

3 調査対象

① 町内小・中・義務教育学校の児童生徒・保護者及び教職員

NO	対 象 者	学校数	対象人数
1	小学4年生～6年生（前期課程）の児童	6校	147名
2	小学4年生～6年生（前期課程）の保護者	6校	147名
3	中学1年生～3年生（後期課程7年生～9年生）の生徒	3校	131名
4	中学1年生～3年生（後期課程7年生～9年生）の保護者	3校	131名
5	小学校・中学校・義務教育学校（前期・後期課程）の教職員	6校	112名

② 町内スポーツ・文化団体

NO	対 象 者	対象団体数
1	スポーツ少年団	11団体
2	体育協会	17団体
3	文化連盟	24団体
4	その他（湧別武道館、トッカリ湧波会）	2団体

4 調査方法

- ・二次元バーコード（QRコード）から回答フォームにアクセスし回答する。
（パソコン、タブレット、スマートフォン）

5 その他

- ・アンケート結果により、現状を把握、分析した上で、課題や問題点を抽出し、検討委員会で協議を進める。

部活動の地域移行に関するアンケート調査ご協力をお願い

■調査対象：町内小学校・義務教育学校前期課程(4年生～6年生)の児童、中学校・義務教育学校後期課程の生徒及び保護者、教職員、スポーツ・文化団体

■調査期間：6月10日(月)～6月30日(日)まで

■回答方法：次のアドレスまたは二次元コードから回答フォームへアクセスしご回答ください。お子様(特に小学生)が回答される場合は、保護者の方のご協力をお願いいたします。

<https://www.town.yubetsu.lg.jp/administration/education/>

QRコード

【回答フォーム】

①可能な範囲でアンケートにご協力ください。

②回答者を特定できる個人的な情報(氏名、性別、住所、電話番号、メールアドレス、学校名等)を回答する質問はありません。

③調査の目的以外に利用することはありません。

■お問い合わせ先 湧別町教育委員会 社会教育課 TEL 5-3132
mail: shakyo@town.yubetsu.lg.jp

このアンケートは、今後の湧別町における部活動の地域移行に向けた検討の参考とするために、やってみたいスポーツ、文化活動や現在の部活動の参加状況、部活動についてのお考えなどをお聞きするものです。

部活動の地域移行とは？ なぜ、必要なの？

- ・部活動の地域移行とは、これまで学校教員が担ってきた部活動の指導を地域のスポーツ・文化団体などに担ってもらうことで、地域の活動に位置付けることです。
- ・背景には、少子化により生徒数や教員数が減少する中で、学校単位ではチームが組めないことや部活動の減少により、希望する部活動が選択できなくなっています。
- ・このことから、学校だけでは部活動を継続的に維持することが困難になっています。
- ・そのため、国では令和7年度までに、休日(土・日曜日)の部活動から段階的に地域に移行する方針が示されたため、湧別町においても、子どもたちが継続してスポーツ・文化活動に親しむことができる機会を確保する必要があります。

休日の地域移行後のイメージ



- ・地域の実情に応じて、より専門的な指導者からの指導が受けられます。
- ・他の学校の生徒や大人、小学生など多様な人たちと平日とは違った経験もできます。

湧別町部活動地域移行に関するアンケート調査項目

【小学校・義務教育学校前期課程（4年生～6年生）児童用】（案）

質問番号	質問内容	選択肢
問1	あなたの学年を教えてください。	①4年生 ②5年生 ③6年生
問2	あなたは中学校、義務教育学校で部活動をやりたいと思っていますか？	①やりたい ②やりたくない ③わからない
問3	問2で「①やりたい」を選んだ人だけ お答えください。町内にある部活動の中でやりたい部活はありますか？ 次の中から1つ選んでください。	男子バスケットボール部、野球部、サッカー部、女子バスケットボール部、ソフトテニス部、バドミントン部、女子バレーボール部、吹奏楽部、文化部
問4	全ての皆さんがお答えください。 あなたは現在、中学校、義務教育学校にある部活動のほかにあったらいいなと思うものを3つ選んでください。	陸上競技、卓球、水泳、柔道、剣道、スキー、スケート、スノーボード、ハンドボール、eスポーツ、ラグビー、登山、スケートボード、テニス、バドミントン、ミニバレー、ソフトボール、パークゴルフ、ゲートボール、ゴルフ、合気道、弓道、空道、ニュースポーツ、イラスト、マンガ、絵画、フォークダンス、ヒップホップ、ジャズダンス、民謡、カメラ、書道、茶道、華道、日舞、木工・陶芸、琴、合唱、カラオケ、演劇、その他※自由回答（ ）

湧別町部活動地域移行に関するアンケート調査項目

【小学校・義務教育学校前期課程（４年生～６年生）保護者用】（案）

質問番号	質問内容	選択肢
問1	あなたのお子さんは現在、学校生活以外でスポーツ活動や文化・芸術活動を行っていますか。	①はい ②いいえ
問2	問1で「はい」を選んだ人だけお答えください。 何のスポーツまたは文化・芸術活動を行っていますか。（選択肢の中にはない場合はその他を選び記入してください）	ミニバスケットボール、野球、卓球、サッカー、陸上競技、スケート、空道、バレーボール、競技スキー、基礎スキー、柔道、日舞、金管バンド、書道、ジャズダンス、演劇、その他（ ）
問3	問1で「はい」を選んだ人だけお答えください。 会費はどのくらいですか。	①年会費（ 円） ②月会費（ 円） ③その他（ 円）
問4	全ての皆さんがお答えください。 あなたのお子さんが中学校、義務教育学校の部活動に参加することで期待することは何ですか。 ※最大3つお選びください。	①大会やコンクールで良い成績を取ること ②体力、技術を向上させること ③協調性を身につけ、より良い人間関係を築くこと ④友達や仲間と楽しく活動すること ⑤進学や就職に将来有利であること ⑥特に目的はない ⑦その他 ※自由回答（ ）
問5	休日（土・日）の学校部活動を段階的に地域に移行することに賛成ですか。 ※国（スポーツ庁・文化庁）は、令和7年度までを改革推進期間として、まずは休日（土・日）の学校部活動から段階的に移行する方針を示しています。 湧別町においてもこれらの方針を踏まえ、部活動の地域移行に向けた検討を進めています。	①賛成である ②どちらかというとな賛成である ③どちらかというとな反対である ④反対である ⑤わからない

質問 番号	質問内容	選択肢
問6	<p>中学校、義務教育学校の部活動を地域クラブ等に移行することに関して、心配することは何ですか。</p> <p>※最大3つお選びください。</p>	<p>①生徒や保護者の理解</p> <p>②活動場所までの送迎の負担</p> <p>③地域において担う受け皿があるか</p> <p>④怪我やトラブル等への対応や補償</p> <p>⑤人材の確保（指導者、運営する人など）</p> <p>⑥平日と休日で指導者が代わる場合があること</p> <p>⑦希望する種目がない</p> <p>⑧指導者の指導力や人柄</p> <p>⑨学校教員とのコミュニケーションがなくなる こと</p> <p>⑩特に心配することはない</p> <p>⑪その他 ※自由回答（ ）</p>
問7	<p>部活動地域移行に関する課題や問題点、ご意見などがございましたら、記載してください。</p>	<p><自由記述></p>

湧別町部活動地域移行に関するアンケート調査項目

【中学校・義務教育学校後期課程生徒用】（案）

質問番号	質問内容	選択肢
問1	あなたの学年を教えてください。	①1年生（7年生） ②2年生（8年生） ③3年生（9年生）
問2	あなたは学校の部活動に所属していますか？	①運動部 ②文化部 ③所属していない
問3	<u>問2で「①運動部」、「②文化部」を選んだ人だけ</u> お答えください。あなたは、休日（土・日）に部活動をやりたいですか？	①やりたい ②やりたくない ③わからない
問4	<u>問2で「③所属していない」を選んだ人だけ</u> お答えください。所属していない理由は何ですか。	①やってみたい部活がない ②学業との両立に不安 ③活動にかかる経費の負担 ④活動する時間がない ⑤保護者の理解が得られない ⑥活動場所までの移動手段がない ⑦部活動以外で活動しているから ⑧その他 ※自由回答（ ）
問5	<u>全ての皆さんがお答えください。</u> 現在、中学校・義務教育学校の部活動の休日（土・日）の活動を学校の先生以外の大人が地域で指導を行う「部活動地域移行」が全国各地で検討されています。これまで学校になかった種目に参加できる可能性があります。そのような活動に参加してみたいですか？	①参加したい ②参加したくない ③わからない

質問 番号	質問内容	選択肢
問 6	<p>問5で「①参加したい」を選んだ人だけお答えください。 その理由として当てはまることを教えてください。</p>	<p>①自分が希望した種目で活動できるから ②専門的な指導を受けることができるから ③他の学校の生徒と一緒に活動することができるから ④その他 ※自由回答（ ）</p>
問 7	<p>あなたは現在、中学校、義務教育学校にある部活動のほかにあったらいいなと思うものを3つ選んでください。</p>	<p>陸上競技、卓球、水泳、柔道、剣道、スキー、スケート、スノーボード、ハンドボール、eスポーツ、ラグビー、登山、スケートボード、テニス、バドミントン、ミニバレー、ソフトボール、パークゴルフ、ゲートボール、ゴルフ、合気道、弓道、空道、ニュースポーツ、イラスト、マンガ、絵画、フォークダンス、ヒップホップ、ジャズダンス、民謡、カメラ、書道、茶道、華道、日舞、木工・陶芸、琴、合唱、カラオケ、演劇、その他 ※自由回答（ ）</p>
問 8	<p>部活動についてご意見などがあれば、自由に書いてください。</p>	<p><自由記述></p>

湧別町部活動地域移行に関するアンケート調査項目

【中学校・義務教育学校後期課程保護者用】（案）

質問番号	質問内容	選択肢
問1	あなたのお子さんは現在、中学校、義務教育学校で部活動を行っていますか。	①はい ②いいえ
問2	<u>問1で「はい」を選んだ人だけ</u> お答えください。何の部活動を行っていますか。	男子バスケットボール部、野球部、サッカー部、女子バスケットボール部、ソフトテニス部、バドミントン部、女子バレーボール部、吹奏楽部、文化部
問3	<u>問1で「はい」を選んだ人だけ</u> お答えください。部活動の部費はどのくらいですか。	年額（ 円）
問4	<u>全ての皆さんがお答えください。</u> あなたのお子さんが中学校、義務教育学校の部活動に参加することで期待することは何ですか。 ※最大3つお選びください。	①大会やコンクールで良い成績を取ること ②体力、技術を向上させること ③協調性を身につけ、より良い人間関係を築くこと ④友達や仲間と楽しく活動すること ⑤進学や就職に将来有利であること ⑥特に目的はない ⑦その他 ※自由回答（ ）
問5	休日（土・日）の学校部活動を段階的に地域クラブ等に移行することに賛成ですか。 ※国（スポーツ庁・文化庁）は、令和7年度までを改革推進期間として、まずは休日（土・日）の学校部活動から段階的に移行する方針を示しています。 湧別町においてもこれらの方針を踏まえ、部活動の地域移行に向けた検討を進めています。	①賛成である ②どちらかという賛成である ③どちらかという反対である ④反対である ⑤わからない

質問 番号	質問内容	選択肢
問 6	<p>あなたは休日（土・日）の部活動が学校の部活動でなくなった場合、お子様を地域のスポーツ活動や文化活動に参加させたいですか。</p>	<p>①活動場所までの移動手段が確保できれば参加させたい ②子どもの求める条件に合うところであれば参加させたい ③学校の部活動でないのなら参加させたくない ④休日の活動はさせたくない</p>
問 7	<p>中学校、義務教育学校の部活動を地域クラブ等に移行することに関して、心配することは何ですか。 ※最大3つお選びください。</p>	<p>①生徒や保護者の理解 ②活動場所までの送迎の負担 ③地域において担う受け皿があるか ④怪我やトラブル等への対応や補償 ⑤人材の確保（指導者、運営する人など） ⑥平日と休日で指導者が代わる場合があること ⑦希望する種目がない ⑧指導者の指導力や人柄 ⑨学校教員とのコミュニケーションがなくなる こと ⑩その他 ※自由回答（ ）</p>
問8	<p>部活動地域移行に関する課題や問題点、ご意見などがございましたら、記載してください。</p>	<p><自由記述></p>

湧別町部活動地域移行に関するアンケート調査項目【教職員用】（案）

質問 番号	質問内容	選択肢
問1	あなたの所属している学校を教えてください。	①小学校・義務教育学校前期課程 ②中学校・義務教育学校後期課程
問2	部活動を担当していますか。	①はい ②いいえ
問3	教職員が部活動の指導を行うことについて どう考えますか。 ※最大3つお選びください。	①専門的な指導ができず、生徒のニーズに十分にこたえられない ②時間的、精神的に余裕が無くなり、負担になっている ③生徒指導上の諸課題を防ぐために有効である ④生徒の成長が見られ、教職員のやりがいにつながっている ⑤教職員が指導することが望ましい ⑥学校内の関係者だけで関わることになり、指導や評価の視点が狭くなる ⑦その他 ※自由回答（ ）
問4	休日（土・日）の学校部活動を段階的に地域クラブ等に移行することに賛成ですか。 ※国（スポーツ庁・文化庁）は、令和7年度までを改革推進期間として、まずは休日（土・日）の学校部活動から段階的に移行する方針を示しています。 湧別町においてもこれらの方針を踏まえ、部活動の地域移行に向けた検討を進めています。	①賛成である ②どちらかという賛成である ③どちらかという反対である ④反対である

質問 番号	質問内容	選択肢
問5	<p>学校部活動を地域クラブ等が担うことについて、期待することを教えてください。 ※最大3つお選びください。</p>	<p>①教職員の負担軽減 ②専門的な指導が受けられること ③子どもが希望する種目の活動の継続性 ④技術力の向上 ⑤多様な子どものレベルに合った活動の充実 ⑥多世代の地域住民との交流 ⑦学校部活動にはない新たな種目の活動の実施 ⑧他校の生徒との交流 ⑨設備の整った練習場所 ⑩その他 ※自由回答（ ）</p>
問6	<p>学校部活動を地域クラブ等が担うことについて、心配することを教えてください。 ※最大3つお選びください。</p>	<p>①指導者との人間関係 ②学校と地域クラブの情報共有の方法 ③指導者の質の担保 ④指導方法（行き過ぎた指導や勝利至上主義など） ⑤怪我やトラブルへの対応や補償 ⑥経費の保護者負担（指導者謝金、保険料など） ⑦指導者の人材不足による希望種目の有無 ⑧生徒とのコミュニケーションの減少 ⑨活動場所までの送迎の保護者負担 ⑩他校生徒との人間関係 ⑪教員ではなく、地域の方が指導すること ⑫活動時間（練習時間が長い、夜間の活動など） ⑬その他 ※自由回答（ ）</p>
問7	<p>学校部活動を地域クラブ等が担うことになった場合、兼職兼業の申請を行い、ご自身が地域の指導者として関わりたいですか。</p>	<p>①はい ②いいえ</p>

質問 番号	質問内容	選択肢
問8	<p>問5で「①はい」と選んだ人だけお答えください。 どのような理由で関わりたいですか。 ※複数回答可</p>	<p>①生徒の成長がうれしい ②指導することが楽しい。やりがいを感じている ③生徒に協調性や社会性を身につけさせたい ④生徒と信頼関係を築くことができる ⑤自分がやってきた活動に今後も携わりたい ⑥精神力や責任感を育てたい ⑦学校とは違う側面を見ることができる ⑧大会などで良い成績を収めたい ⑨その他 ※自由回答（ ）</p>
問9	<p>問5で「②いいえ」と選んだ人だけお答えください。 「いいえ」と答えた理由は何ですか。</p>	<p>①専門的な指導ができない ②家庭生活を優先させたい ③校務多忙化を解消したい ④授業改善に向けた教材研究を行いたい ⑤その他 ※自由回答（ ）</p>
問10	<p>部活動地域移行についての課題や問題点、ご意見などがございましたら、記載してください。</p>	<p><自由記述></p>

湧別町部活動地域移行に関するアンケート調査項目

【スポーツ・文化団体用】（案）

質問 番号	質問内容	選択肢
問 1	<p>休日（土・日）の学校部活動の地域移行において、期待することはありますか。</p> <p>※スポーツ庁・文化庁は、令和7年度までを改革推進期間として、まずは休日（土・日）の学校部活動から段階的に移行する方針を示しています。</p> <p>湧別町においてもこれらの方針を踏まえ、部活動の地域移行に向けた検討を進めています。</p>	<p>①専門知識や技術の向上</p> <p>②学校部活動にはない様々な活動ができること</p> <p>③教員の負担軽減につながる事</p> <p>④その他 ※自由回答（ ）</p>
問 2	<p>休日（土・日）の学校部活動の地域移行において、課題となることは何ですか。</p>	<p>①受け皿となる団体や指導者の確保</p> <p>②継続した子ども達の活動</p> <p>③指導者の質や指導方法（行き過ぎた指導や勝利至上主義など）</p> <p>④活動場所までの移動手段や送迎の負担</p> <p>⑤部活動顧問（教職員）と指導者との指導の違い</p> <p>⑥他校の生徒や指導者との人間関係</p> <p>⑦特になし</p> <p>⑧その他 ※自由回答（ ）</p>
問 3	<p>あなたが所属する団体等で休日（土・日）に中学生の活動を支援するため、指導することはできますか。</p>	<p>①指導できる</p> <p>②指導できない</p> <p>③わからない</p>
問 4	<p>問3で「①指導できる」を選んだ人だけお答えください。休日（土・日）に子ども達の指導をする場合、どれくらいの時間が可能ですか？</p>	<p>①1時間以内</p> <p>②1時間から2時間以内</p> <p>③2時間から3時間以内</p>

質問 番号	質問内容	選択肢
問5	<p>問3で「①指導できる」を選んだ人だけお 答えてください。ご指導いただける種目、団 体名、時間帯、内容について教えてください。</p>	<p><u>種目（競技名等）</u> <u>団体名</u> <u>時間帯</u> <u>内容</u></p>
問6	<p>次は、全ての団体がお答えください。 指導するにあたって整理すべき課題や気 なることは何ですか？ ※最大3つお選びください。</p>	<p>①指導する人材の確保 ②指導者の報酬 ③指導にあたっての身分保証の確保 ④大会の引率 ⑤生徒との関わり ⑥保険等の加入 ⑦その他 ※自由回答（ ）</p>
問7	<p>部活動地域移行についての課題や問題点、 ご意見などがございましたら、記載してく ださい。</p>	<p><自由記述></p>

(2)部活動関係者との協議について

資料2

■部活動の設置状況と在籍数（令和6年5月時点）

NO	部活動名	上湧別中学校	ゆうべつ学園	芭露学園	合計
1	野球部	4名	3名	2名	9名
2	男子バスケットボール部	10名	10名		20名
3	女子バスケットボール部	9名			9名
4	女子バレーボール部	4名	13名		17名
5	吹奏楽部	11名	16名		27名
6	ソフトテニス部	17名			17名
7	サッカー部	2名			2名
8	バドミントン部			5名	5名
9	文化部			1名	1名
部活動加入者小計①		57名	42名	8名	107名
オール湧別参加生徒数②		0名	3名	0名	3名
部活動加入者合計③（①+②）		57名	45名	8名	110名
生徒数合計④		67名	56名	8名	131名
加入率（③/④×100%）		85.1%	80.4%	100%	84%

■オール湧別の受け入れ状況

NO	部活動名	上湧別中学校	ゆうべつ学園	芭露学園	参加校
1	野球部				
2	サッカー部	1名			ゆうべつ学園
3	女子バスケットボール部	2名			ゆうべつ学園
4	ソフトテニス部				
合計		3名			

■部活動の活動状況

上湧別中学校

NO	部活動名	活動日・活動時間	主な活動場所	備考
1	野球部	毎週月曜日～金曜日	毎週月曜日～金曜日 上湧別中学校 毎週土曜日・日曜日 中湧別球場、佐呂間中学校	
2	男子バスケットボール部	毎週月曜日～金曜日 16時00分～18時00分 ※11月～4月は17時30分まで	上湧別中学校	
3	女子バスケットボール部	毎週土曜日・日曜日 9時00分～12時00分		
4	女子バレーボール部	※土・日のどちらかは原則休み		
5	吹奏楽部			上湧別中学校、ゆうべつ学園 文化センターさざ波
6	ソフトテニス部	毎週月曜日～金曜日 16時00分～18時00分 ※11月～4月は17時30分まで 毎週土曜日 9時00分～12時00分 ※土・日のどちらかは原則休み	上湧別中学校	
7	サッカー部	毎週月曜日～金曜日 16時00分～18時00分 ※11月～4月は17時30分まで 毎週土曜日（試合の日） 試合の日程による	毎週月曜日～金曜日 上湧別中学校 毎週土曜日（試合の日） 試合会場による	

【ゆうべつ学園】

NO	部活動名	活動日・活動時間	主な活動場所	備考
1	野球部	毎週月曜日～金曜日 16時00分～18時00分 ※11月～3月は17時30分まで	毎週月曜日～金曜日 ゆうべつ学園 毎週土曜日・日曜日 中湧別球場、佐呂間中学校	
2	男子バスケットボール部	※毎週水曜日休み 毎週土曜日・日曜日	ゆうべつ学園、上湧別中学校	
3	女子バレーボール部	9時00分～12時00分		
4	吹奏楽部	※土・日のどちらかは原則休み		

【芭露学園】

NO	部活動名	活動日・活動時間	主な活動場所	備考
1	野球部	毎週月曜日～金曜日 16時00分～18時00分 ※11月～3月は17時30分まで ※毎週水曜日休み 毎週土曜日・日曜日 9時00分～12時00分 ※土・日のどちらかは原則休み	毎週月曜日～金曜日 ゆうべつ学園 毎週土曜日・日曜日 中湧別球場、佐呂間中学校	
2	バドミントン部	毎週月曜日～金曜日 15時30分～17時00分 大会前土曜日 9時30分～12時00分	芭露学園	
3	文化部	毎週月曜日～金曜日 15時30分～17時00分	芭露学園	

■湧別町のスポーツ・文化団体と指導者数（基準日：令和5年10月1日）

No	区分	団体名	代表者	指導者数
1	スポーツ少年団	湧別ミニバスケットボールクラブ	兼田 篤	5
2		湧別マリナーズ（野球）	平田 弥	3
3		湧別TTC（卓球）	北本 和博	2
4		湧別JSCスケート	藤本 祐司	2
5		空道少年団	矢古宇良幸	2
6		上湧別バレーボール少年団	牧村 宣幸	3
7		上湧別競技スキー少年団	因 洋史	11
8		FCミラグロスJr.（サッカー）	兼田 真一	4
9		湧別基礎スキー少年団	毛利 強	20
10		湧別柔道	寺下 秀明	1
		小 計①		53
11	体育協会	湧別軟式野球連盟	下田 英人	0
12		湧別ソフトボール協会	井上 哲	0
13		湧別スキー協会	寺田 忠弘	20
14		上湧別バレーボール協会	大槻 剛敏	0
15		湧別バレーボール協会	工藤 健	
16		湧別町ソフト・ミニバレーボール協会	上野 幸春	0
17		上湧別パークゴルフ協会	森 正実	8
18		湧別パークゴルフ協会	本田 勝樹	2
19		上湧別地区ゲートボール協会	片平 喜一	9
20		湧別地区ゲートボール協会	佐藤 昌司	0
21		湧別チュービットミニバレー協会	井上 実	0
22		湧別町合気道協会	尾崎 响	4
23		湧別弓道会	小泉 勝男	0
24		湧別剣道協会	泉 瞭	2
25		湧別スケート協会	久保 隆幸	0
26		湧別テニス協会	本田 浩美	0
27		湧別スーパーアスリートクラブ	石川 克己	0
		小 計②		45

No	区分	団体名	代表者	指導者数	
28	文化連盟	湧別カメラクラブ	堀 淳一	0	
29		湧別盆栽同好会	久保 隆幸	0	
30		上湧別書道同好会	鈴木奈緒美	2	
31		上湧別カメラクラブ	中田 幸雄	0	
32		いけ花嵯峨御流北海道雅友司所	古川 宏道	0	
33		池坊近藤社中	近藤 優子	0	
34		木工サークル	山口 厚子	0	
35		絵画サークル	折野 勝	0	
36		湧別民謡同好会	三浦 進	0	
37		湧別フォークダンス同好会	藤井智恵子	0	
38		上芭露歌謡同好会	福原 敏春	0	
39		若柳臣流湧別若寿会	若柳吉竹寿	1	
40		生田流正派若菜会柴田社中	柴田 雅寿	1	
41		ジャズダンスサークルアミッ	本田ちづ子	1	
42		町民芝居ゆうべつ	長谷川 洋	0	
43		チューリップ歌謡愛好会	小野寺良司	0	
44		上湧別民謡友の会	松尾 弘子	2	
45		オホーツク歌謡愛好会	高桑 義博	0	
46		上湧別吹奏楽団	片岡 幸生	0	
47		聖月流日本吟剣詩舞道会	小嶋 博子	1	
48		うたごえサークルコロポックル	米倉 和信	0	
49		静雲國暁流	寺田 忠弘	1	
			小 計③		9
50		その他	湧別武道館（剣道）	平形 康浩	1
51			トッカリ湧波会	藤田 千秋	2
			小 計④		3
			合 計（①+②+③+④）		110

■協議可能な部活動

NO	部活動名	ゆうべつ学園	上湧別中学校	芭露学園	相手方（案）
1	野球部				湧別マリナーズ（野球） 湧別軟式野球連盟
2	男子バスケットボール部				湧別ミニバス
3	女子バスケットボール部				湧別ミニバス
4	女子バレーボール部				上湧別バレーボール少年団 上湧別バレーボール協会
5	吹奏楽部				上湧別吹奏楽団
6	ソフトテニス部				湧別テニス協会
7	サッカー部				FCミラグロスJr（サッカー）
8	バドミントン部				
9	文化部				

【確認事項】

①話し合いの日程調整等は教育委員会で行う。

・参集範囲：部活動顧問、協会、団体、少年団の代表者又は指導者、教育委員会

②部活動ごとに各学校合同で行う。

③話し合いの視点

・活動状況（部活動、少年団）、課題・問題点、地域移行の可能性等

※話し合いの結果については、次回の検討委員会にて報告

2024年4月から

新チーム始動！

陸上仲間随時募集！一緒に走ろう！

『ゆうべつキッズ』

陸上競技少年団

一緒に陸上競技をやろう！

対象 小学3年生～中学3年生

活動 週2回（水曜日と土曜日）

会場 湧別町内体育館もしくはグラウンド

オホーツクキッズ

検索



オホーツクAC所属の現役アスリートが直接指導！

【スタッフ】

オホーツクAC/キッズ代表

金子 航太（走幅跳：7m61 100m：11"19）

ゆうべつキッズ コーチングスタッフ

西村 優雅（走幅跳：6m63 100m：11"64）

豊原 隆之（ゆうべつ学園 教員）

高橋 由耶（ゆうべつ学園 教員）

申込・問合せ先 オホーツクAC/キッズ 金子 mail:kanekouta@yahoo.co.jp



オホーツクKIDS